

菩提樹池里山保全地域かいぼり作業

菩提樹通信

去る6月24日(土)に菩提樹池里山保全地域内の菩提樹池で早稲田大学所沢キャンパス、東京学芸大学の学生をはじめ、所沢市消防団第7分団、菩提樹池愛好会、菩提樹田んぼの会、山口の自然に親しむ会といった地元の団体や西武鉄道株式会社、公益財団法人トトロのふるさと基金、埼玉県、所沢市の職員総勢60名余が9時から12時30分までかいぼり作業を行いました。作業後には、菩提樹田んぼで作られたお米を使ったカレーが振舞われ、大いに盛り上がりました。



作業手順について説明中

「かいぼりとは」

池や沼の水をくみ出し泥をさらい、魚などの生物を獲り、天日に干すことです。農業用のため池を維持するために行われてきた日本の伝統的な管理方法であり、栄養塩類を含んだ泥や水を排出し、また池の底を空気にさらして微生物による分解を促進することで、水質を浄化する効果があります。農業目的の他に、水質改善や外来生物駆除のため各地で行われています。また、換え掘り(かえぼり)、換え乾し(かえぼし)、池干し、泥流しなどといった呼び方があります。※1



かいぼり作業中



かいぼりは大変なんだな・・・



作業後の風景



食事会の様子



作業後の菩提樹池

編集後記

多くの方の協力を得て、かいぼり作業を2年振りに行うことができました。ご協力いただいた皆様ありがとうございます。今回の作業を通し、地元をつなぐの良さや世代を超えた交流の大切さを再認識すると共に、今後も各団体協力をお願い、継続して作業を行なえればと思いました。(あ)

※1 ウィキペディア引用

発行
所沢市 環境クリーン部 みどり自然課
TEL 04-2998-9373